

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

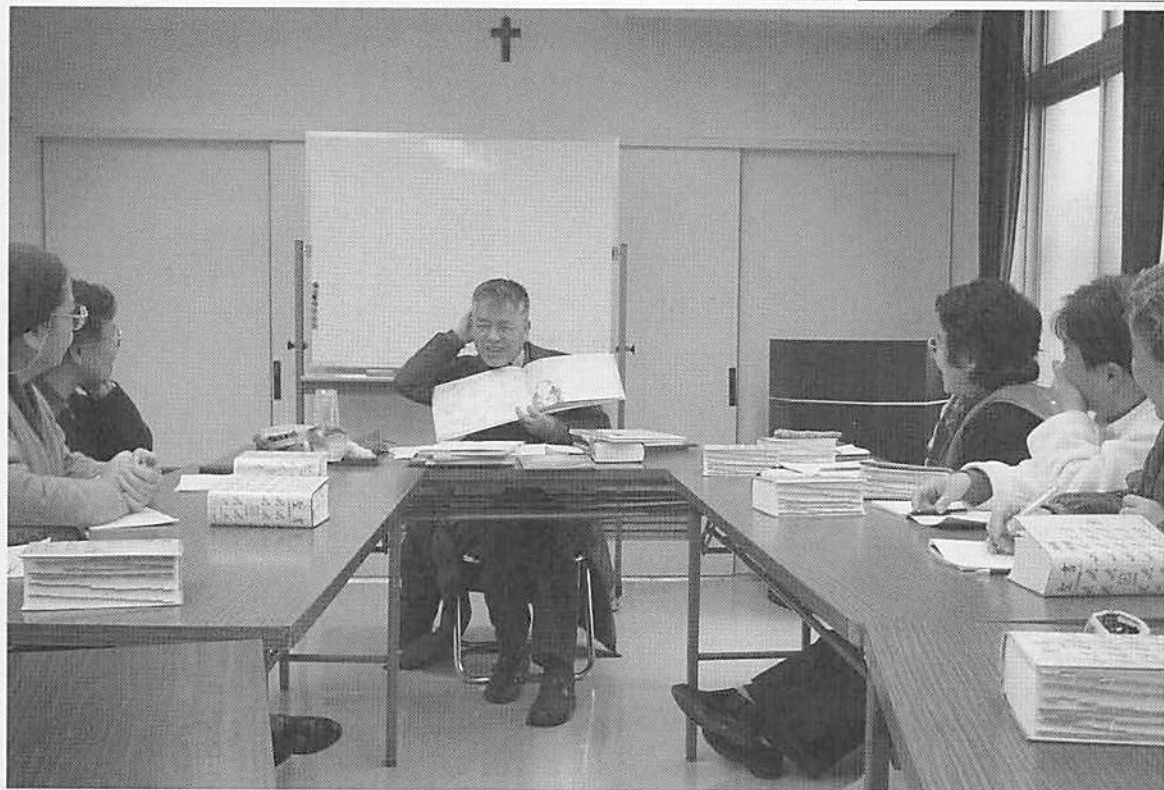
Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2～4頁 京都司教区現勢報告

5頁 聖書講座シリーズ紹介

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さ
んまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



共同体による信仰の成長

キリスト教の信仰は共同体の中
で培われるものです。

「培われる」とは、植物が種か
ら芽を出し、葉をつけ、やがては
実りを結び、次の世代へと「いの
ち」を伝えるように、一つの種が
成長するために、まわりにある多
くのものから影響を受け、育てら
れることです。このことは、皆さ
んもご存知だと思います。

同じように、私たちも共同体と
のつながりが弱くなると、植物が
養分不足になったように、祈りが
できなくなったり、生きる目的を
失ったような気持ちにおそわれた
り、洗礼の喜びを感じられなくなっ
たり、最後には信仰を疑ったりす
ることになります。

このように考えますと、自分の
信仰を成長させるために、「共同
体」は不可欠なのです。その中で
も、私たちが教会を「共同体」と
して体験することが大切なのです。

(写真は福音セ
ンター開講の『絵
本はいいなあ』の
一コマです)

4
2003

カトリック京都司教区現勢報告書 (2002年1月1日～12月31日)

I. 概 況

面 積: 18,097.82km² (京都府、滋賀県、奈良県、三重県)
 人 口: 7,309,646人
 信者総数: 18,981人
 求 道 者: 253人
 小 教 区: 54
 巡回教会: 3

II. 人員構成

司 教 日本人 2 外国人 0

司 祭・修道士 () 内は修練者及び志願者数

		司 祭		修 道 士	
		日本人	外国人	日本人	外国人
教 区		17	0		
宣 教 会	メリノール会	0	9		
	グワダルベ会	0	3		
	ザベリオ会	0	1		
	フィリピン会	0	2		
修 道 会	ヴィアートル会	1	3	0	4(1)
	エスコラピオス会	0	3		
	カルメル会	3	1(1)	1	0
	ドミニコ会	2	0		
	マリスタ会	1	6		
	レデンプートル会	3	2	1	0
	フランシスコ会	0	2		
	サレジオ会	1	0	1(0)	0
	イエズス会	1	1		
淳 心 会		0	2		
上記以外の所属の教区内居住司祭		0	4		
ブレラトゥーラ・ベルソナリス オブスディ		1	1		
		30	40(1)	3(0)	4(1)

神学生・哲学生

	日本人	外国人
教 区	1	0
修 道 会	1	0
合 計	2	0

在俗会

	日本人	外国人
聖母カテキスタ会	19	0

伝道師

	男	女	合計
信 徒	0	1	1
修道士	0	8	8

修道女

() 内は修練者及び志願者数

	日本人	外国人
イエスの小さい姉妹の友愛会	4	0
ウイチタの聖ヨゼフ修道会	26(1)	3
ショファイユの幼きイエズス修道会	17	0
カルメル会	18	0
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	11	1
聖母訪問会	16	0
聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会	4	0
スヴェール愛徳修道会	26	0
ノートルダム教育修道女会	64	3
メリノール女子修道会	2	6
聖ドミニコ女子修道会	9	0
聖ドミニコ宣教修道女会	5	1
隣保聖体修道会	0	4
無原罪の聖母フランシスコ姉妹会	0	4
カルメル宣教修道女会	0	4
マリアの御心会	3	0
聖ウルスラ修道会	1	1
善きサマリア人修道会	7	1
聖心のウルスラ宣教女修道会	7	2
マリアの娘エスコラピオス修道女会	3	2
合 計	223(1)	32

III. 施 設

() 内は信徒数

社 会 福 祉 施 設	保 育 園	6	園 児 数	867(14)
	年 間 延 べ 人 数			
	保育園以外の児童福祉事業	4	宿泊を伴う利用者数	12,931(4)
			宿泊を伴わない利用者数	52,168(30)
	老人ホーム	8	宿泊を伴う利用者数	509(133)
	老人ホーム以外の老人福祉事業	23	宿泊を伴う利用者数	15,110(212)
施 設	老人ホーム以外の老人福祉事業		宿泊を伴わない利用者数	129,000(860)
	その他の社会福祉事業	5	宿泊を伴う利用者数	136(49)
			宿泊を伴わない利用者数	32,999(203)

教 育 施 設	幼 稚 園	23	男 子	1,769(32)
			女 子	1,984(32)
	小 学 校	2	男 子	765(22)
			女 子	1,184(32)
	中 学 校	6	男 子	854(21)
			女 子	1,751(26)
	高 等 学 校	9	男 子	1,696(19)
			女 子	2,643(33)
	短 期 大 学	1	女 子	845(15)
	大 学	1	男 子	1(0)
施 設			女 子	1,477(17)
	養 護 学 校	2	男 子	68(0)
			女 子	58(0)

一 般 施 設	センター・会館	11	宿泊を伴う利用者数	274(209)
			宿泊を伴わない利用者数	25,853(10,397)
	学 生 寮	1	利 用 者 数	20(4)
	社 会 人 寮	1	利 用 者 数	4(0)
	黙想の家・研修所	3	宿泊を伴う利用者数	6,450(3,361)
			宿泊を伴わない利用者数	7,617(2,931)
施 設	そ の 他 施 設	3	宿泊を伴う利用者数	14,976(10,015)
			宿泊を伴わない利用者数	

小教区概況

教会名	信 徒 数		ミ サ 参 加			求道者	洗 礼		堅 信	結 婚	転 入	転 出	死 亡	教会学校	
	総数	(2001)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未
A. 京都府南部															
東ブロック															
1.河原町	1,771	1,718	880	1,900	2,950	49	22	12	28	20	27	36	13	50	100
2.北白川	360	327	120	240	350	12	19	6	14	10	11	7	3	31	0
3.高野	466	491	100	250	290	2	0	0	9	1	3	24	4	15	0
4.山科	349	346	100	180	350	5	3	2	0	2	5	1	5	33	28
小 計	2,946	2,882	1,200	2,570	3,940	68	44	20	51	33	46	68	25	129	128
北ブロック															
5.衣笠	569	533	120	350	450	4	0	5	0	5	4	11	5	32	329
6.宇津	15	14	10	11	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7.山国	20	20	9	11	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.小山	177	204	30	80	80	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
9.西陣	129	127	50	130	120	0	2	1	2	5	0	1	2	8	0
10.西院	554	566	150	300	350	6	7	5	0	3	4	11	3	39	0
小 計	1,464	1,464	369	882	1,028	10	10	12	3	13	9	23	11	79	329
西ブロック															
11.桂	557	684	70	150	180	4	9	5	4	3	8	146	3	18	11
12.九条	200	200	40	70	80	2	0	2	0	3	0	2	2	16	4
13.長岡	310	305	60	150	170	3	1	1	1	1	9	4	1	20	1
14.丹波	311	309	70	150	150	0	3	0	1	1	1	1	1	21	5
小 計	1,378	1,498	240	520	580	9	13	8	6	8	18	153	7	75	21
南ブロックA															
15.伏見	470	503	130	310	400	8	9	6	4	3	7	31	1	24	2
16.桃山	505	512	69	120	110	4	2	1	1	0	6	10	3	6	0
17.八幡	174	176	40	80	80	0	0	2	0	0	2	1	2	3	0
小 計	1,149	1,191	239	510	590	12	11	9	5	3	15	42	6	33	2
南ブロックB															
18.宇治	559	549	120	210	240	7	7	5	8	0	4	3	3	23	0
19.青谷	194	195	40	80	120	0	0	0	5	0	1	0	2	18	0
20.田辺	372	376	80	180	220	3	0	1	0	1	4	6	2	4	0
21.精華	173	174	60	160	200	3	0	1	0	0	3	5	0	5	0
小 計	1,298	1,294	300	630	780	13	7	7	13	1	12	14	7	50	0
B. 京都府北部															
舞鶴ブロック															
22.綾部	65	65	35	20	55	1	1	0	0	1	2	0	2	0	0
23.福知山	71	66	15	40	30	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0
24.報恩寺	280	284	25	65	103	0	0	2	0	0	1	1	4	0	0
25.西舞鶴	314	318	80	150	180	1	1	6	1	4	0	3	1	32	14
26.東舞鶴	240	243	60	80	120	0	1	0	1	0	2	6	0	9	0
小 計	970	976	215	355	488	6	3	8	2	5	10	10	7	41	14
宮津ブロック															
27.宮津	306	304	65	110	120	1	5	2	1	0	2	1	5	15	0
28.岩滝	169	168	40	50	60	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0
29.加悦	122	122	50	70	130	0	0	1	0	0	0	0	1	15	0
30.網野	145	141	35	60	60	2	2	1	3	0	3	1	1	5	0
31.丹後大宮	136	135	40	80	61	0	1	2	2	0	0	0	3	0	0
32.峰山	112	118	28	68	51	0	1	1	0	0	2	1	2	8	0
小 計	990	988	258	438	482	3	10	7	6	0	7	3	12	48	0
合 計	10,195	10,293	2,821	5,905	7,888	121	98	71	86	63	117	313	75	455	494

小教区概況

教会名	信徒数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	総数	(2001)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未
C. 滋賀県															
湖西ブロック															
33.大津	551	551	140	230	280	5	5	0	5	2	12	16	1	46	18
34.唐崎	280	275	66	208	205	1	5	8	9	0	4	12	0	39	2
35.安曇川	87	86	20	40	20	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0
小計	918	912	226	478	505	6	10	8	14	2	18	28	2	85	20
湖東ブロック															
36.草津	813	803	222	453	602	12	5	19	10	5	8	5	3	41	63
37.甲賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38.彦根	214	230	62	110	187	6	3	19	0	1	1	3	4	7	0
39.長浜	92	92	40	95	120	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
小計	1,119	1,125	324	658	909	19	8	38	10	7	9	8	7	48	63
合計	2,037	2,037	550	1,136	1,414	25	18	46	24	9	27	36	9	133	83
D. 奈良県															
北部ブロック															
40.富雄	321	313	100	200	250	4	1	4	1	2	9	8	0	14	0
41.登美ヶ丘	460	481	130	380	395	2	8	2	1	3	1	11	7	8	125
42.奈良	1,014	1,014	300	430	750	21	8	7	11	5	18	17	16	29	6
43.大和郡山	415	427	90	180	250	9	3	2	3	3	5	14	1	26	2
小計	2,210	2,235	620	1,190	1,645	36	20	15	16	13	33	50	24	77	133
南部ブロック															
44.御所	152	152	40	80	100	1	0	1	0	1	4	1	3	0	0
45.大和高田	439	438	90	250	300	12	3	1	3	2	5	5	3	15	47
46.西大和	281	285	60	150	200	2	1	2	1	0	0	1	0	19	0
47.大和八木	300	293	70	100	110	2	2	0	2	1	7	0	2	18	0
小計	1,172	1,168	260	580	710	17	6	4	6	4	16	7	8	52	47
合計	3,382	3,403	880	1,770	2,355	53	26	19	22	17	49	57	32	129	180
E. 三重県															
北勢ブロック															
48.桑名	288	293	80	150	220	4	0	1	0	1	4	8	1	10	2
49.鈴鹿	268	265	60	130	150	1	10	19	1	4	10	10	0	0	0
50.亀山	54	51	10	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0
51.四日市	778	746	319	496	502	18	24	62	40	7	6	6	4	37	2
小計	1,388	1,355	469	776	872	23	34	82	41	15	20	25	7	47	4
中勢ブロック															
52.津	452	434	150	230	300	17	2	18	0	0	7	2	7	13	5
53.久居	177	184	50	100	120	1	2	2	2	1	1	7	5	6	0
54.上野	196	162	100	120	150	8	3	9	0	1	0	5	0	41	0
55.名張	159	159	60	80	90	3	3	1	0	3	1	4	0	14	0
小計	984	939	360	530	660	29	10	30	2	5	9	18	12	74	5
南勢ブロック															
56.伊勢	367	375	77	201	188	0	0	0	0	0	2	3	3	21	0
57.松阪	265	267	70	200	300	2	3	0	2	3	3	5	6	5	0
小計	632	642	147	401	488	2	3	0	2	3	5	8	9	26	0
合計	3,004	2,936	976	1,707	2,020	54	47	112	45	23	34	51	28	147	9
総計	18,618	18,669	5,227	10,518	13,677	253	189	248	177	112	227	457	144	864	766
	総数	(2001)	日曜日	復活祭	クリスマス	求道者	成人	幼児	堅信	結婚	転入	転出	死亡	信	未
	信徒数		ミサ参加				洗	礼						教会学校	

*甲賀教会の数字は草津教会に含まれている。

2003年2月25日
カトリック京都教区
本部事務局

こんにちはシスター

スヴェール愛徳修道会

藤ノ森修道院

Sr 高城 (写真右から)

Sr 下田

Sr 片山



わたしたちは二〇〇三年二月現在、住宅地の一角に三人で住んでいます。Sr.下田、Sr.高城、Sr.片山です。Sr.下田は京都マックの役員として、また、エキシメニカルな配食の会「ちいさな」の奉仕に、定期的に携わっています。Sr.高城は週に一度、近くのデイスサービスセンターに、利用者の方々に主に折り紙を楽しんでいただくために通い、近くの人々との出会いに後の時間を費やしています。Sr.片山は聖母女学院短期大学に勤務しています。三人とも、働く場所は異

なりませんが、非常に庶民的な、人と人との距離が近い場に生活していますので、滞日外国人も含めていろいろな人との出会いを通して、自らの眼差しを聖霊によって日々試していただいています。

修道会については、すでに本誌に掲載された他の修道院の紹介で説明されていますが、少し繰り返しますと、十七世紀にフランス中部の一寒村で若い司祭が起した、いわば「人間性回復アクション」が起源となり、今日、世界のあちこちに広がっている国際修道会です。人の弱さの中にも、その強さを顕示される父なる神の愛といつくしみを、その日歩む道の上で出会う人々と共に深めながら、派遣されたその場で、時間を共有する全ての人と共に生きています。すでに福音の道に招き入れられた恵みの部分を観想しながら、また救いを遠くから望む人々共に、全キリストの完成の日の到来を力強く待ち焦がれています。

(関連URL)

<http://www.h2.dion.ne.jp/~news/index.htm>

<http://www.seibo.ac.jp/>

<http://www.h3.dion.ne.jp/~paul/index.htm>

<http://www.h3.dion.ne.jp/~paul/index.htm>

聖書講座シリーズ20

マルコ福音書を読む —イエス・キリストの秘密—

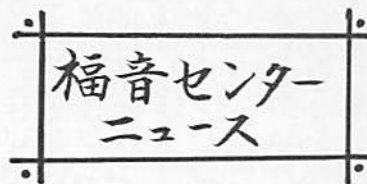
時間・水曜夜コース 午後7時半～9時 主催・京都教区聖書委員会 (電話075-211-3484 FAX075-211-3910)
木曜昼コース 午前10時～正午 締切・4月26日 (土)
場所・カトリック河原町教会地下ホール 申込・河原町カトリック会館内「聖書委員会」
費用・6,000円、申込後郵便振替口座00910-9-148401「京都教区聖書委員会」に振込み下さい。

第1回	5月7・8日	導入 (みことば・典礼・共同体・神の国)	村上透磨
第2回	5月14・15日	イエス・キリストの福音の始まり	幸田和生
第3回	5月21・22日	荒野に聞こえる二つの声	安藤敬子
第4回	5月28・29日	イエスの登場と神の国の到来	鈴木信一
第5回	6月4・5日	イエスの言葉を聞く人々と神の国の成長	中川博道
第6回	6月11・12日	すべての人にいのちのパンを与えるイエス	来住英俊
第7回	6月18・19日	マルコ福音書のクライマックス	九里彰
第8回	6月25・26日	イエスの道と神の国を受け入れる人々	新井延和
第9回	7月2・3日	エルサレムへの道 (神の国の実現へ)	西経一弘
第10回	7月9・10日	主の再臨を待ち望む (神の国を待ち望む)	森尚美
第11回	7月16・17日	イエスの道の完成 (神の国の実現へ)	沼野尚美
第12回	7月23・24日	死と復活による神の国の実現	大塚喜直
第13回	9月3・4日	イエスの秘密 (奥義)	小久保喜以子
第14回	9月10・11日	地理的メッセージ	伊従信子
第15回	9月17・18日	イエスの奇跡	高山貞美
第16回	9月24・25日	イエスと対人関係	鳥巢義文
第17回	10月1・2日	年間12主日 (嵐の中の教会)	菊地功
第18回	10月8・9日	変容の祝日 (イエスの変容)	北村善朗
第19回	10月15・16日	年間28の主日 (福音と富)	国井健宏
第20回	10月22・23日	年間29の主日 (ゼベダイの子ら)	昌川信雄



養成コース案内

祈りⅠ



『主よ、渇くことのないように、その水をください』

ヨハネ 4章15節

～出会いへの道～

日曜日教会に行ってもけっこう忙しくゆっくり祈ってられない。

行事や仕事におわれて神の望みが何で本当に重要なことが何かを見分けることもなく過ぎている。私たちの日々の生活そのものに神の愛が働いていると実感できないでいる。

そんな状況の中で主が渇いておられる。「水を飲ませてください」と。私たちは、今生きておられる神とのいのちに満ちた交わり、出会い（祈り）に互いに渇いているのではないのでしょうか。神との出会いは人との出会いであり、自分との出会いです。

祈りⅠの研修では、神との関わりが身近で生き生きとしたものになるために、様々な祈り方を学び体験します。それは自分の人生や大自然やみことばを通して自分の経験によく耳を傾けることから始めます。その中にとどまり、神の大きな愛の中にいること、神の力強い働きに気づき実感していきます。

神との出会いを深めていく祈りへの道を初心に戻り、自分の祈り方を見出す良い機会となりますように。

琵琶湖畔での2泊3日の参加をお待ちしております。

講師 松本 秀友師 福音センター（シスター・安井 昌子）
 日時 2003年5月9日（金） pm 4時～11日（日） pm 3時半
 会場 唐崎ノートルダム修道院 〒520-0106 大津市唐崎 1-3-1
 （JR湖西線唐崎駅下車 徒歩10分 電話077-579-2884）

申込み 4月30日（水）迄に!!

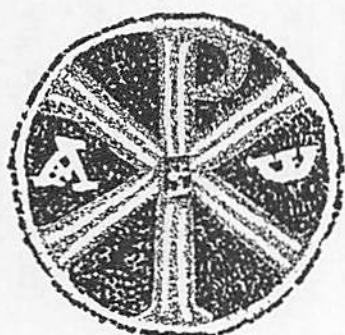


郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上
 参加費20,000円を下記へお振り込みください。

郵便振替口座 00920-4-161844

「カトリック福音センター養成コース」宛

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター
 電話 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



あなたは神のことを思わず 人間のことを思っている

(マルコ8・33)

アルペンガ洗礼堂(イタリア)の十字架モザイク

イエスと共に歩んだ荒れ野の40日もそろそろ終わりに近づき、聖週間が目前に迫っています。ご自分の受難を予告されるイエスの姿を、前回に引き続きマルコ福音書にさぐってみましょう。

受難予告と弟子の無理解

三回にわたるイエスの受難予告については、共観福音書記者がそれぞれに語っていますが、その中でもマルコは予告にまつわる弟子の無理解に徹底的に光を当て、イエスの孤独を浮き彫りにします。

最初にイエスが受難を予告されたとき(8・31、32)、そのすぐ前に「あなたは、メシアです」と大胆にも告白したペトロが、今度はすぐにイエスを「わきへお連れして、いさめ始め」ます。このペトロにイエスがどれほど厳しい言葉で答えられたかは皆さんもよくご存知のはずです。「サタン、引き下がれ」、サタン扱いされたペトロは度肝をぬかれたことでしょう。

二回目にイエスが予告されたとき(9・30、31)、「弟子たちはこの言葉が分からず」(32)、こともあろうに自分たちの中でだれが一番偉いかを言い争っています(34)。それに対し、マタイの描く弟子たちは「非常に悲しみ」、ルカ福音書では、弟子たちの無理解は「理解できないように隠されていたから」と弁護されるなど彼らの無理解に理解が示されます。

最後の予告には(10・32～34)なんとも言えず寂しいエピソードが続きます。ヤコブとヨハネが「出世」を求めるのです。ルカはこのエピソードを省き、マタイはこのまったく見当はずれの願いを母親の口から語らせています。教育ママ第一号です。いずれにしろ、十字架の苦悩を前にしたイエスはどのような思いでこのもっとも愛する弟子の願いを聞かれたのでしょうか。

十字架へ

このようにマルコ福音書の受難予告には必ず弟子の無理解が対比され、それを論すイエスの言葉がそれに続きます。地上的メシア、権力争い、権力への望みを切り捨てながら、イエスは十字架に向かって進まれます。

お知らせ

復活の主日 20日(日)

青年センターから

◆第2回世界青年の日の集い 13日(日) 13時 河原町教会地下ホール

教区委員会から

◆聖書委員会◆聖書深読12日(土) 10時~16時 新井延和師 場所 河原町会館六階 費用二千五百円(昼食代を含む)、持参品 聖書・筆記用具・ノート(お申込みは3日前までに)

◆典礼委員会◆主日のミサと聖体賛美式第一日曜日17時半 河原町教会◆主日のミサと晩の祈り第三土曜日16時半 衣笠カルメル修道会

修道会から

◆ノートルダム教育修道女会◆青年黙想会―道を求めて―26日(土) 15時~27日(日) 15時 場所 ノートルダム唐崎修道院 対象 青年男女 会費三千円 問合せ 電話 077(579)2884 Sr安井まで

地区協議会から

◆滋賀カトリック協議会◆例会27日(日) 13時半 草津教会

ブロック・小教区から

◆北白川教会◆室内楽コンサート―シュターミッツ弦楽四重奏団を迎えて―6日(日) 14時 入場料二千円、学生・七十歳以上千円(収益は寄付します) コンサートのあとホールで出演者の6人も交えて手作りお菓子のティーパーティー 予約・問合せ 電話075(791)6556 小田まで

◆京都コリアンカトリックセンター◆韓国カトリックの聖地を巡る旅 21日(月)~24日(木)

教育関係施設から

◆京都ノートルダム女子大学◆入学式2日

◆暁星女子高等学校◆入学式4日

◆京都聖カタリナ女子高等学校◆入学式9日

◆セントヨゼフ女子学園高等学校◆入学式5日

◆ノートルダム女学院中学高等学校◆入学式8日

◆洛星中学校・高等学校◆入学式9日

典礼に関する素朴な疑問

Question & Answer

ミサ中の聖歌について

典礼に関する素朴な質問の中に、聖歌に関するものがありました。

①主の祈りを歌うか歌わないか。

②聖体拝領後、すぐ聖歌を歌うのは、イエス様との対話をこわすことになるのではないか。

③祈りの応答、聖歌の共唱は、何か学芸会の様な気恥ずかしさを感じてしまうことがある。というようなご意見でした。

まずラテン語の格言に「cantat Bis orat」(クイ カンタト ビス オラト)というものがあります。ビスを、二度と訳すが、二倍と訳すが、二重にと訳すかによりニュアンスが違いますが、「歌う人はビス祈る」となります。

祈りというのは、人に聞かせるものではなく、神に語りかけるもので、上手下手に関係なく、子供も、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に賛美の声を合わせて唱えるのです。

私が思うのですが、共に祈

る時、口語体の話し言葉ではなく、たとえそれが歌と呼ばれても、韻を含んだものになる方がよいのではないのでしょうか。その意味では、すでに公唱は歌(合唱)なのですね。

歌うにせよ唱えるにせよ合唱する、それは人の声に耳を傾けることにもなります。

主の祈りのことですが、昔、例えば文語体でロザリオの祈りを唱える時は、それは一つの合唱でした。

主の祈りを歌うことについてですが、私は文語体に従って作られたメロディが、そのままに受け取られたことへの違和感があり、今のままではあまり歌いたくないのです。聖歌は、言葉にメロディがついてくる祈りですから。

聖体拝領の時の歌は、典礼的には会衆の拝領が終わって、静かに心を合わせ賛美と感謝の祈りを、二倍にして捧げることに意義があり、そう奨められています。

典礼委員会

◆聖母学院小学校▼入学式 9日

◆ノートルダム学院小学校▼入学式 8日

◆聖母教育文化センター▼日曜巡礼の旅ーキリシタンの遺跡を訪ねてー年間予定 5月滋賀・蒲生氏郷出生地、6月三重・浦上キリシタン流配の地、7月講演会、9月兵庫・明石の高山右近船上城、10月大阪・河内キリシタン教会跡、11月京都・キリシタン時代の牢屋敷 以上いずれも第二日曜日 13時 巡礼指導者 三俣俊二名譽教授 集合場所は毎月のお知らせをご覧ください▼聖書講座 毎週金曜日 9時半、月曜日 19時 講師 安藤敬子氏 受講料無料▼いずれも問合せ 075(643)2320

諸施設・諸活動から

◆JOC▼働いている青年の集い 京都働く人の家(九条教会前)、滋賀働く人の家(大津教会裏) 問合せ 090(8207)1831

◆京都カノの会▼結婚相談室・例会 6日(日) 13時半

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日 13日(日) 14時、26日(土) 19時 河原町会館六階

◆京都キリシタン研究会▼定例会 27日(日) 14時 河原町教会

◆コロチエステ▼練習第2、第4、第5木曜日 10時〜12時 河原町会館六階ホール

◆在世フランススコ会▼京都兄弟会 19日(土) 13時半 フランススコの家

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会(正義と愛をもって苦しんでいる人々を援助し、人間的なふれあいによる活動をするグループ)▼河原町協議会 13日(日) 13時半 河原町教会▼京都中央理事会 27日(日) 13時半 河原町教会

◆NGOフランスカンズ関西▼例会 12日(土) 13時 フランススコの家

◆二金会▼第二金曜日 10時15分 場所 西陣教会

◆糠みその会▼例会 24日(木) 19時45分 九条教会ホール

◆レジオ・マリエ▼コミチュム 20日(日)

◆「一万匹の蟻運動」基金報告 累計三万、四四一、二二一円 (二月十七日現在)

良書紹介

「御受難から聖霊降臨まで」

この季節の聖書の解説は、LE・ブラウン

『十字架につけられたキリスト』

『キリストの復活』

『聖霊降臨』 (女子パウロ)

を読まれることをお勧めする。

さて絵本シリーズに戻って、今回は、カール(絵)、マクラレン(文)

『ことりが好きになった山』を紹介する。

岩だらけの山が野原にそびえていた。ある日一羽の小鳥がやってきた。その名はジョイ、岩はここにずーと一緒に居てくれるようにたのんだ。でもジョイは渡り鳥。ここに留まることは出来ない。

そこでジョイは、自分と同じ名をつけた子供たちを毎年送り続けることを約束する。百回目の春のこと、ついに岩の心臓が爆発し、岩は涙を流した。涙は少しずつ岩をやわらげ始めた。ジョイは次の年も次の年も種を

くわえて来ては、岩の割れ目に種を置いて行った。岩は悲しみ、なお涙を流し続けた。

種は芽を出し、葉をつけていることに岩は気が付かなかった。種は深く根を伸ばし、心臓にまで達し始め、痛みは次第に消えていった。そして周りに緑が繁り始めたことに気付いた。

こんなにすてきなことが起るなんて、悲しみの涙は、喜びに変わっていった。山は草木を歓迎し始めた。木は育ち、ある日ジョイは、果作りを始めた。まあこんな内容の絵本である。

ここには従来のユダヤ人的な魂の永続性の思想と通じるものがあるような気がする。復活の思想が十分になかった初期のユダヤ人は、こうして命の不滅を理解し、復活の思想へと導かれていく。

子供に恵まれることは、この子を通して、自分の命が生き続けると考えたのだ。



大塚司教の

4月のスケジュール

2日(水)中央協議機構改革委員会15時

3日(木)中央協常任司教委員会10時

4日(金)6日(日)倉敷共同宣教司牧 四旬節 黙想会

12日(土)洛星中等学校新校舎祝別式13時

13日(日)教区世界青年の日の集い(河原町) 13時

16日(水)司教顧問会・責任役員会10時

17日(木)聖木曜日・主の晩餐(河原町) 19時

18日(金)聖金曜日・主の受難(河原町) 19時

19日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町) 19時

20日(日)主の復活司教ミサ(河原町) 10時半

22日(火)神学校同窓会

お知らせ

◆帰天

▼シスター鈴木幸子(聖母カテキスタス)が2月17日帰天されました。

た。69才でした。永遠の安息のために祈りください。

▼シスタースールマリヤ ディアナ竹中タケ(聖ドミニコ女子修道会)が2月24日帰天されました。94才でした。永遠の安息のために祈りください。



◎先日私の小教区で、7人もの子供さんの初聖体がありました。いつまでも、この日の嬉しかった気持ちを持ち続けて欲しいなと思いました。(月)

◎明るいという字をみつめていると、日と月が抱き合っている。二つの光が暗い世を包むと明るい日が生まれる。君に明日あれ。(MT)

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、6月号でしたら4月21日までに、7月号でしたら5月19日までに、京都司教区本部事務局内「京都教区時報」宛にFAXか、またはEメール henshu@kyoto.catholic.jp でお願ひします。

世界青年の日

京都カトリック青年センターでは、来る四月十三日(日)河原町教会地下ホールにて午後一時より、第2回世界青年の日の集いを司教様を交えて開催いたします。

この「世界青年の日」というのは、教皇様が一九八四年贈いの年の閉会のミサで翌年の受難の主日にローマに集うよう青年に呼びかけたのが始まりです。そして、二、三年に一回の割合で世界大会が行われ、また他の年には、教区ごとに集いが行われてきています。京都教区では、その世界青年の日の集いは、今まで行われて来ていませんでしたが、昨年大塚司教から青年への呼びかけによって新たに始まりました。

昨年は「大塚司教と語ろう」という題目で開催されました。内容は、マタイ受難の箇所朗読劇を行い、朗読劇からミサにつなげました。そしてその後、簡単な交流会、司教様との質疑応答を行いました。

さて今年の内容は、「あなたは私を愛しているかーペトロの三度の裏切りを許したイエス」という題目で開催します。これは、福音書においてペトロがイエスに対して三回、裏切りの言葉

葉を言ったように、私たちの生活の中で、神を無視したり、拒否したことをミサ中に三つ書いていきます。そしてペトロが信仰告白を通して主に赦して頂いたように、私たちもミサの中で赦しを体験していこうとする試みです。終わりにちょっとした交流会を予定しています。

さて、この集いですが、すでに各教会、各高校・大学に案内が届いていることと思います。来る四月十三日(日)河原町教会地下ホールにて、開催します。時間は午後一時より五時です。参加費五百円です。皆さん、お友達同士でお誘いあわせの上、お越しくださいませ。たくさん参加をスタッフ一同お待ちしております。

なお、この集いに関するお問い合わせは、青年センターまでお願いします。

青年センター
火曜・土曜：十四時～二十一時
TEL 075-822-6246
FAX 075-812-6685

四月から青年センターの専従者が、土岐仁美から柳原朋子に代わります。どうぞ宜しくお願いします。